

7. 関連イベント

Event

【1】 COC 事業関連イベント

1. 地(知)の拠点整備事業に関する説明会を開催

平成26年9月29日(月)、教職員を対象とした「地(知)の拠点整備事業に関する説明会」を弘前大学創立50周年記念会館みちのくホール及び医学部基礎大講堂で開催し、約150名の教職員が出席した。

この説明会は、平成26年度「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」に本学が採択されたことから、事業内容等を理解し、今後の事業運営に役立ててもらうことを目的として開催した。

説明会では、吉澤企画担当理事から事業全体に関する説明、伊藤教育担当理事から教育に関する説明があり、教養教育等に関する活発な意見交換が行われた。



2. COC 推進室看板上掲式を挙行

平成26年12月2日(火)、「COC推進室」の看板上掲式を挙行し、佐藤学長、吉澤企画担当理事、加藤総務担当理事、伊藤教育担当理事及び曾我副理事と多数の推進室関係者が出席した。

同推進室は、平成26年度に本学が文部科学省に採択された「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」の実施及び連絡調整等の業務を行うことを目的に、平成26年11月に新設され、本学が、教育・研究・社会貢献の各事業において、青森県・弘前市・産業界・地域住民らと協働し、一体となって取組む「青森ブランドの価値を創る地域人財の育成」に関する企画立案や実行を担当する。

上掲式では、佐藤学長と同推進室長である吉澤企画担当理事による看板の上掲が行われた後、佐藤学長が「COCの拠点ができたことは大変喜ばしいこと。今後は成果が問われるので、地域との取組みを強化していきたい」と挨拶した。また、吉澤企画担当理事からは「推進室は青森県に活力を送

り込むポンプのようなもの。そのためにはポンプ自身が元気でないといけない。私たち自らが活力を持って、行動力を備えた学生を育て、地域の発展に貢献したい」との抱負が述べられた。



3. 弘前大学附属図書館に「青森に関する書籍の紹介コーナー」を設置

弘前大学附属図書館では、本学の学生に青森や弘前のことをもっと知ってもらうため、これから青森に関する書籍を充実していく予定であり、その先駆けとして、青森に関する書籍の紹介コーナーを設置した。学生の様々な興味関心に対応できるよう、多様なジャンルの書籍を取りそろえる。

また、図書館は平成26年度にリニューアルオープンし、ブナコやこぎん刺しなど、青森の特産品を各所に取り入れており、地域の特産品に囲まれて、青森に関する書籍を読み、その魅力を再発見できるようにした。



【2】 教育関連FD

1. 「弘前大学教養教育に関するFD」を開催

平成27年2月19日(木)、弘前大学創立50周年記念会館岩木ホールにおいて、「弘前大学教養教育に関するFDについて」をテーマに教育推進機構・教育委員会の主催により開催した。

本学では、全学的な教育改革を推進しており、その基盤となる教養教育改革においては、平成28年度実施を目指し準備が進み、また今年度は、文部科学省「地(知)の拠点整備事業」に採択されたことから、地域志向を踏まえた教育課程について検討している。今回開催されたFDは、策定中の新しい教養教育について周知を図るとともに、民間が開発したジェネリック・スキル測定の実施結果を共有することにより、能動的学修を推進することを目的としている。

当日は各学部・研究科等から約80名の参加者があり、新しい教養教育への関心の高さがうかがえ、会場は熱気に包まれた。

はじめに、伊藤教育担当理事より開会の挨拶と「新しい教養教育について」の講演があり、続いて、近藤賢(株)リアセック社取締役COOから「ジェネリック・スキル測定実施結果について」、人文学部森樹男教授から「課題解決型学修の実践事例紹介」の講演が行われた。

最後に、新しい教養教育への科目等、能動的学修の具体的方法、ジェネリック・スキル測定結果の今後の活用方法などについて様々な質問があり、活発な意見交換となった。





文部科学省

地(知)の拠点